

# 先進歯科医学（AD：Advanced Dentistry）

責任者・コーディネーター	補綴・インプラント学講座(摂食嚥下・口腔リハビリテーション学分野)小林 琢也 教授 病理学講座(病態解析学分野)入江 太朗 教授、 口腔顎顔面再建学講座(歯科麻酔学分野)佐藤 健一 教授、 法科学講座(法歯学・災害口腔医学分野)熊谷 章子 准教授 補綴・インプラント学講座(補綴・インプラント学分野)田邊 憲昌特任教授 補綴・インプラント学講座(補綴・インプラント学分野)今 一裕 准教授				
担当講座(分野)	病理学講座(病態解析学分野)、口腔顎顔面再建学講座(歯科麻酔学分野)、法科学講座(法歯学・災害口腔医学分野)、歯科保存学講座(う蝕治療学分野)、歯科保存学講座(歯周療法学分野)、補綴・インプラント学講座(摂食嚥下・口腔リハビリテーション学分野)、補綴・インプラント学講座(補綴・インプラント学分野)				
対象学年	4	区分・時間数	後期	講義/演習 66.0時間	実習 22.5時間
期間	後期				

## 学修方針（講義概要等）

先進歯科医学（Advanced Dentistry）では、保存修復学、補綴治療学等に関して理解、把握してきた知識を確かなものとし、さらに高度な歯科治療を学修し、実習を行う。先進的な内容である口腔インプラント学、摂食・嚥下リハビリテーション、Digital dentistry、スポーツ歯学、法歯学についても講義・実習を行う。

さらに、我が国では超高齢社会の到来により、介護が必要な高齢者の歯科治療とともに、摂食嚥下機能の維持・回復の重要性が高まっており、高齢者に多くみられる全身疾患、口腔症状を理解する必要がある。、それに加えて、医療の仕組みと多職種連携のチーム医療についても、e-Learning（IT教育システム）を活用した講義演習を行う。

上記の目標を達成するために、講義、実習、手術見学などを行い、その後コース全体としての最終筆記試験を実施する。

## 教育成果（アウトカム）

先進歯科医学（Advanced Dentistry）では、保存修復学、補綴治療学等に関して理解、把握してきた知識を確かなものとし、さらに高度な歯科治療を学修し、実習を行うことによって各ユニットを修得する。

- ・先進的な内容である口腔インプラント学については基礎的な理解を深め、高度な臨床手技を修得することを目標とする。
- ・摂食・嚥下リハビリテーション、Digital dentistry、スポーツ歯学、法歯学についても講義・実習を行うことでその内容の理解を深め、その概要を説明できることを目標とする。

一方、我が国では超高齢社会の到来により、様々な基礎疾患を有する患者が増加している。さらに、介護が必要な高齢者の増加と共に呼吸器感染症の予防や摂食嚥下機能の維持・回復のための口腔ケア等の重要性が高まっている。そこで国民の健康に貢献できるオーラルフィジシャン（口腔科医）となるために、高齢者に多くみられる全身疾患、口腔症状を理解し、それに加えて、医療の仕組みと多職種連携のチーム医療についても理解しておく必要がある。上記については、e-Learning（三大学連携IT教育システム）を通して、知識を深め、その概要を説明できることを目標とする。

（関連するディプロマポリシー：1、3、4、5、6、8、9）

## 事前事後学修の具体的内容及び時間

事前学修（予習）は、シラバスに記載されている各回到達目標の内容に関し、教科書を用いて調べて、ノートにまとめておくものとする。各回最低30分以上を要する。また、各講義に対する事前配布資料またはWebclassに提示される講義資料がある場合には、適宜活用することとする。

各講義の冒頭または講義中に、適宜、事前学修内容の発表時間を設けて知識の習得状況を確認する。本内容はすべての講義に対して該当するものとする。

（事前学修：最低30分を要する 事後学修：最低30分を要する）

## 講義/演習日程表

区分	月日 (曜)	時 限	担当教員 (講座 分野)	ユニット名 内容	到達目標 [コア・カリキュラム] 事前事後学修
講義	11/21 (火)	1	熊谷章子准教授 (法科学講座法歯 学・災害口腔医学分 野)	<b>法歯学概論</b> 法歯学の概容を理解でき る。	1. 歯科医師の法的責任を説明できる。 2. 死亡診断ができる。 3. 死因究明等の推進制度を説明できる。 4. 死体解剖について説明できる。 5. 身元不明死体の個人識別について説明できる。 [A-1-1)-③、A-1-3)-④、A-4-2)- ⑦、A-6-1)-⑦、A-6-2)-①②] 事前学修：法歯科医学p1-16、p83- 99、p195-201を読み、疑問点を抽出 しておくこと(所要時間60分)。
講義	11/21 (火)	2	熊谷章子准教授 (法科学講座法歯 学・災害口腔医学分 野)	<b>法医学 法医人類学</b> 法医学、法医人類学の知 識を身につける。	1. 異状死について説明できる。 2. 死因とその死体所見を説明できる。 3. 生活反応と死後変化の区別ができる。 4. 早期・晚期死体現象について説明できる。 5. 人骨形態から引き出せる情報を説明できる。 6. 人骨に見られる男女差に関して説明できる。 7. 人骨から死亡時年齢を推定できる。 [B-2-3)-①②、C-5-7)-①] 事前学修：法歯科医学p17-22、p26- 37、p41-53、p100-129を読み、疑問 点を抽出しておくこと(所要時間30 分以上)。
講義	11/21 (火)	3	眞瀬智彦教授 (救急・災害医学講 座)	<b>災害医学概論</b> 災害医学の概容を理解でき る。	1. 過去に起きた大規模災害とその 問題について説明できる。 2. 平時と災害時の医療の違いを説 明できる。 3. 災害医療の基本理念を説明でき る。 4. 災害拠点病院について説明でき る。 5. DMAT、JMATについて説明でき る。 6. 災害時トリアージについて説明 できる。 7. 多職種による災害時対応の意義 を説明できる。 [A-5-1)-②③、A-7-1)-⑥]

講義	11/21 (火)	4	熊谷章子准教授 (法科学講座法歯 学・災害口腔医学分 野)	<b>災害口腔医学概論</b> 災害口腔医学の概容を理 解できる。	1. 災害医療に関わる法律について 説明できる。 2. 災害発生時の歯科医師としての 立場とその役割を理解できる。 3. 日本の身元確認システムを説明 できる。 4. 身元確認に関する日本の制度を 説明できる。 5. 海外の身元確認システムを説明 できる。 6. DVIチームについて説明できる。 7. DMORTについて説明できる。 8. 災害対応者の心的ストレス、 PTSDについて説明できる。 [A-7-1)-⑥、B-2-2)-⑨、B-2-3)- ①②] 事前学修：法歯科医学p181-194を読 み、疑問点を抽出しておくこと（所 要時間60分）。
講義	11/22 (水)	1	熊谷章子准教授 (法科学講座法歯 学・災害口腔医学分 野)	<b>歯科的個人識別 歯科的年齢推定</b> 歯科医師による個人識別 について理解する。 エックス線写真による年 齢推定法を習得する。	1. 歯科的個人識別の方法を説明で きる。 2. 歯科的年齢推定の方法を説明で きる。 3. グループワークを取り入れて、 歯科的年齢推定を行える力の強化を 図る。 [B-2-3)-①②] 事前学修：法歯科医学p134-167を読 み、疑問点を抽出しておくこと（所 要時間30分以上）。
実習	11/22 (水)	2	熊谷章子准教授 (法科学講座法歯 学・災害口腔医学分 野)	<b>歯科的年齢推定実習</b> 歯からの年齢推定法を習 得する。	1. 歯の加齢性変化に関する知識を 使用して、歯1本から個人の年齢推 定ができる。 [B-2-3)-①②]
講義	11/22 (水)	3	中久木康一 非常勤講師	<b>災害時歯科保健医療活動</b> 災害時の歯科保健医療活 動を理解できる。	1. 災害避難者に対する歯科医師の 役割を説明できる。 2. 災害時の歯科保健医療の必要性 を理解できる。 3. 被災者の口腔ケアの重要性につ いて説明できる。 4. グループワークを通して、災害 時避難所のアセスメントが行える力 の強化を図る。 [A-5-1)-②③、B-2-2)-⑨]

講義	11/22 (水)	4	菊月圭吾 客員教授	<b>警察協力歯科医による検死活動</b>  平時・災害時の歯科医師による検死活動を理解できる。	1. 警察歯科医について説明できる。 2. 災害犠牲者に対する歯科医師の役割を説明できる。 3. 災害現場の遺体安置所での歯科医師の活動を説明できる。 4. 身元不明死体と候補者との照合について説明できる。 [B-2-3)-①②]
実習	11/24 (金)	1	熊谷章子准教授 (法科学講座法歯学・災害口腔医学分野)	<b>歯科的個人識別実習</b>  正確なデンタルチャートの記入方法を習得する。遺体のデンタルエックス線写真撮影法を取得する。照合による歯科的個人識別法を習得する。	1. 死後記録として有用なデンタルチャートを完成させることができる。 2. 生前記録との照合作業ができる。 3. 学生同士でのディスカッションの機会を設け、正確で適切な歯科的個人識別を行える力の強化を図る。 [B-2-3)-①②]
実習	11/24 (金)	2	熊谷章子准教授 (法科学講座法歯学・災害口腔医学分野)	<b>大規模災害対応実習</b>  災害時の歯科医師の役割と多職種が連携した対応について理解できる。	1. 災害現場出動のための準備が行える。 2. 安全に配慮した災害対応が行える。 3. 災害被災者、犠牲者に対する多職種と連携した作業が行える。 4. グループワークを取り入れて、災害現場の遺体安置所設営が行える。 [A-5-1)-②③、A-7-1)-⑥、B-2-3)-①②]
講義	11/24 (金)	3	熊谷章子准教授 (法科学講座法歯学・災害口腔医学分野)	<b>虐待</b>  虐待と歯科医師の関わりを理解できる。	1. 虐待の種類を説明できる。 2. 虐待の徴候と対応を説明できる。 3. 虐待防止制度を説明できる。 4. 虐待に対する歯科医師の責務を説明できる。 5. 虐待発見時の通報先を説明できる。 [B-2-2)-⑥、E-4-2)-⑪、E-5-1)-⑪] 事前学修：法歯科医学p 38-40、p54-64を読み、疑問点を抽出しておくこと（所要時間30分）。
実習	11/24 (金)	4	熊谷章子准教授 (法科学講座法歯学・災害口腔医学分野)	<b>咬傷鑑定実習</b>  咬傷鑑定方法を理解できる。	1. 咬傷鑑定について説明できる。 2. 被害者の咬傷と被疑者の歯列弓を科学的に分析できる。 3. 科学的分析結果についてプレゼンテーションを実施する機会を設ける。 [B-2-2)-⑥、B-4-2)-⑪、B-5-1)-⑪]

講義	11/27 (月)	1	入江太朗教授 (病態解析学)	<b>口腔病理学 1</b> 病理検査の流れと検査施行の注意点を理解する。	1. 病理検査の流れを説明できる。 2. 特殊染色や病理学的な遺伝子検査の意義とその仕組みを説明できる。 <b>[E-2-4)-(6)]</b> アクティブラーニング：ディスカッション方式の講義を行う。講義の途中あるいは最後にクリッカーを活用して学生の理解度を逐次確認する。 ICT：クリッカー等 事前学修：新口腔病理学p323-330を読み、疑問点を抽出しておくこと。(60分を要する)
講義	11/27 (月)	2	佐藤泰生講師 (病態解析学)	<b>口腔病理学 2</b> 歯科治療に伴う治癒の病理変化を理解する。	1. インプラント、歯の移植・再植に伴う生体反応を説明できる。 2. 象牙質・歯髄複合体への処置に伴う組織変化を説明できる。 3. 根管治療に伴う組織変化を説明できる。 4. 矯正治療に伴う歯周組織の変化を説明できる。 5. 抜歯創や骨折の治癒を説明できる。 6. 骨再生、炎症、骨髄炎、偶発症における病理変化を説明できる。 <b>[E-3-4)-(3)]</b> アクティブラーニング：ディスカッション方式の講義を行う。講義の途中あるいは最後にクリッカーを活用して学生の理解度を逐次確認する。 ICT：クリッカー等 事前学修：新口腔病理学p98-119、p120-131を読み、疑問点を抽出しておくこと。(60分を要する)
講義	11/27 (月)	3	梶村幸市 非常勤講師	<b>審美歯科治療 1</b> 非侵襲的処置と侵襲的治療法	1. 歯の漂白方法について説明できる。 2. 歯ラミネートベニア修復について説明できる。 3. コンポジットレジンのレイヤリングテクニックを説明できる。 <b>[E-3)-3)-(1)、E-3)-3)-(2)]</b> アクティブラーニング：プレゼンテーション、ディスカッション ICT：DESS演習、クリッカー、PC、PAD、スマートフォン 事前学修：Webclassにアップする資料を理解しておく。医歯薬出版 保存修復学 p 145-158、228-231、歯内療法学 p 235-237を読み内容をまとめておく。

講義	11/27 (月)	4	野田守教授 (う蝕治療学) 志賀華絵 非常勤講師	難易度の高い 歯科治療 1  レーザー治療 マイクロスコープ	1. 歯科用レーザーの種類と適用について説明できる。 2. 歯科用マイクロスコープの使用 方法について説明できる。 [E-3)-3)-(1)、E-3)-3)-(2)、E- 3)-3)-(3)] アクティブラーニング：プレゼン テーション、ディスカッション ICT：DESS演習、クリッカー、PC、 PAD、スマートフォン 事前学修：Webclassにアップする資 料を理解しておく。医歯薬出版 保 存修復学 p 105-106、歯内療法学 p 225-232を読み内容をまとめてお く。
講義	11/28 (火)	1	大平千之 非常勤講師	Digital Dentistry 1  デジタル技術の歯科治療 への応用	1. Digital Dentistryの特徴につい て説明できる。 2. CAD/CAMシステムを用いたイン レー、クラウン、可撤性義歯製作方 法について説明できる。 [E-3-4)-(1)-⑤、E-3-4)-(1)-⑥] アクティブラーニング：プレゼン テーション、ディスカッション ICT：オンライン講義システム 事前学修：歯科に導入されているデ ジタル技術とCAD/CAMについて、教 科書（クラウンブリッジ補綴学第6 版P208-217）等を用いて事前に調 べ、500字程度にまとめ発表でき るようにしておく。
講義	11/28 (火)	2	大平千之 非常勤講師	Digital Dentistry 2  CAD/CAM、口腔内スキャ ナーを応用した補綴処置	1. Digital Dentistryの臨床応用 について説明できる。 2. CAD/CAMシステムを用いた歯科技 工について説明できる。 3. 口腔内スキャナーの使用方に ついて説明できる。 [E-3-4)-(1)-⑤、E-3-4)-(1)-⑧] アクティブラーニング：プレゼン テーション、ディスカッション ICT：オンライン講義システム 事前学修：CAD/CAM、口腔内スキャ ナー、ミリングマシン、3Dプリンタ について、教科書（クラウンブリ ッジ補綴学第6版P208-217）等を用 いて事前に調べ、500字程度にまと め発表できるようにしておく。

講義	11/28 (火)	3	千葉豊和 非常勤講師  クラウンブリッジによる 審美修復	<b>審美歯科治療 2</b>  1. クラウンブリッジの審美修復について説明できる。 [E-3-4)-(1)] アクティブラーニング：プレゼンテーション、ディスカッション ICT：オンライン講義システム 事前学修：審美修復・審美治療とはどのような治療でどのように行われるのか、教科書（クラウンブリッジ補綴学第6版P270-291）等を用いて事前に調べ、500字程度にまとめ発表できるようにしておく。
講義	11/28 (火)	4	千葉豊和 非常勤講師  インプラントによる審美 修復・即時修復	<b>審美歯科治療 3</b>  1. インプラントの審美修復について説明できる。 2. 即時修復・即時荷重の方法とその意義について説明できる。 3. 即時修復・即時荷重と通法の違いについて説明できる。 [E-3-4)-(3)⑤] アクティブラーニング：プレゼンテーション、ディスカッション ICT：オンライン講義システム 事前学修：審美修復・審美治療とはどのような治療でどのように行われるのか、教科書（よくわかる口腔インプラント学第3版P202-214）等を用いて事前に調べ、500字程度にまとめ発表できるようにしておく。
講義	11/29 (水)	1	梅原一浩 非常勤講師  ITを応用した診断と治療 計画	<b>Digital Dentistry 3</b>  1. デンタルインプラントの診断について説明できる。 2. 埋入手術シミュレーションについての説明ができる。 [E-3-4)-(3)-①、E-3-4)-(3)-②、E-3-4)-(3)-③] アクティブラーニング：プレゼンテーション、ディスカッション ICT：オンライン講義システム 事前学修：Digital Dentistryとはどのような治療でどのように行われるのか、教科書（よくわかる口腔インプラント学第3版P81-123）等を用いて事前に調べ、500字程度にまとめ、発表できるようにしておく。

実習	11/29 (水)	2	深澤翔太准教授 塚谷顕介助教 福德暁宏助教 野尻俊樹助教 (補綴・インプラント学)	<b>Digital Dentistry 4</b>  口腔内スキャナーによる 光学印象採得実習	1. 口腔内スキャナーによる光学印象採得について説明できる。 2. 口腔内スキャナーを用いて模型の歯列の印象採得ができる。 [E-3-4)-(3)-③、E-3-4)-(3)-④、E-3-4)-(3)-⑤] アクティブラーニング：実習、ディスカッション ICT：オンライン講義システム 事前学修：口腔内スキャナーがどのような治療でどのように使われるのか、教科書（クラウンブリッジ補綴学第6版P208-217）等を用いて事前に調べ、500字程度にまとめ、ディスカッションできるようにしておく。
演習	11/29 (水)	3	今一裕准教授 (補綴・インプラント学)	<b>デンタルインプラント 1</b>  PCを用いた診断と埋入手術シミュレーション	1. デンタルインプラントの診断について説明できる。 2. 埋入手術シミュレーションについての説明ができる。 [E-3-4)-(3)-⑤] アクティブラーニング：プレゼンテーション、ディスカッション ICT：PCを用いた演習 事前学修：インプラント治療の診断を行うにあたり必要な検査項目と埋入手術の術式について、教科書（よくわかる口腔インプラント学第3版P85-97, P146-162）等を用いて事前に調べ、500字程度にまとめ発表できるようにしておく。
演習	11/29 (水)	4	今一裕准教授 (補綴・インプラント学)	<b>デンタルインプラント 2</b>  補綴主導型インプラント治療・骨増生法	1. 補綴主導型インプラント治療について説明できる。 2. 診断に基づき骨移植の必要性を判断できる。 3. 前歯部のインプラント埋入の原則について説明できる。 [E-3-4)-(3)-⑤、E-3-4)-(3)-⑥] アクティブラーニング：プレゼンテーション、ディスカッション ICT：PCを用いた演習 事前学修：骨移植の種類について、教科書（よくわかる口腔インプラント学第3版P219-231）等を用いて事前に調べ、500字程度にまとめ発表できるようにしておく。

講義	11/30 (木)	1	春日井昇平 非常勤講師	デンタルインプラント 3 インプラント治療の予後 と併発症	1. インプラント治療の予後について説明できる。 2. インプラント治療における併発症について説明できる。 [E-3-4)-(3)-①、E-3-4)-(3)-②、E-3-4)-(3)-③、E-3-4)-(3)-⑧] アクティブラーニング：実習、ディスカッション ICT:WebClass、オンライン講義システム 事前学修：インプラントの偶発症について、教科書（よくわかる口腔インプラント学第3版P262-286）等を用いて事前に調べ、500字程度にまとめ、発表できるようにしておく。
講義	11/30 (木)	2	堀内克啓 非常勤講師	デンタルインプラント 4 高度なインプラント外科手術	1. インプラント治療における骨移植の方法について説明できる。 2. インプラント治療における骨造成法の種類と適応について説明できる。 [E-3-4)-(3)-④、E-3-4)-(3)-⑤] アクティブラーニング：実習、ディスカッション ICT:WebClass、オンライン講義システム 事前学修：インプラント関連の骨移植と骨補填材料について、教科書（よくわかる口腔インプラント学第3版P61-63, P219-240）等を用いて事前に調べ、500字程度にまとめ、発表できるようにしておく。
実習	11/30 (木)	3	深澤翔太准教授 齊藤裕美子助教 塚谷顕介助教 佐藤宏明助教 (補綴・インプラント学)	インプラント手術室・ CAD/CAMセンター見学 1	1. 手術室における器具に準備を説明できる。 2. 患者の誘導について説明できる。 3. 術中管理・術後管理について説明できる。 4. CAD/CAMシステムについて説明できる 5. CAD/CAMセンターの器材について説明できる。 [E-3-4)-(3)-⑥、E-3-4)-(3)-⑦] アクティブラーニング：実習、ディスカッション ICT:WebClass 事前学修：CAD/CAMによる補綴装置の製作方法について、教科書（クラウンブリッジ補綴学第6版P208-217）等を用いて事前に調べ、500字程度にまとめ、発表できるようにしておく。

実習	11/30 (木)	4	深澤翔太准教授 齊藤裕美子助教 塚谷顕介助教 佐藤宏明助教 (補綴・インプラント学)	インプラント手術室・ CAD/CAMセンター見学2	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 手術室における器具に準備を説明できる。</li> <li>2. 患者の誘導について説明できる。</li> <li>3. 術中管理・術後管理について説明できる。</li> <li>4. CAD/CAMシステムについて説明できる。</li> <li>5. CAD/CAMセンターの器材について説明できる。</li> </ol> <b>[E-3-4)-(3)-⑥、E-3-4)-(3)-⑦]</b> アクティブラーニング：実習、ディスカッション ICT:WebClass 事前学修：インプラントの埋入手術、2次手術と器材の準備について、教科書（よくわかる口腔インプラント学第3版P137-162）等を用いて事前に調べ、500字程度にまとめ、発表できるようにしておく。
講義	12/1 (金)	1	深澤翔太准教授 (補綴・インプラント学)	Digital Dentistry5  CAD/CAM、口腔内スキャナーを応用した補綴処置	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Digital Dentistryの臨床応用について説明できる。</li> <li>2. CAD/CAMシステムを用いた歯科技工について説明できる。</li> <li>3. 口腔内スキャナーの使用方法について説明できる。</li> </ol> <b>[E-3-4)-(3)-⑥]</b> アクティブラーニング：プレゼンテーション、ディスカッション ICT：オンライン講義システム 事前学修：CAD/CAM、口腔内スキャナー、ミリングマシン、3Dプリンタがどのように歯科技工に応用されているか、教科書（クラウンブリッジ補綴学第6版P208-217、よくわかる口腔インプラント学第3版P152-158）等を用いて事前に調べ、500字程度にまとめ発表できるようにしておく。
講義	12/1 (金)	2	田邊憲昌教授 福德暁宏助教 (補綴・インプラント学)	スポーツ歯科 1 スポーツ歯学  スポーツデンティストの役割	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. スポーツ歯学・スポーツ医学の意義について説明できる。</li> <li>2. スポーツ基本法について説明できる。</li> <li>3. マウスガードの目的と機能を説明できる。</li> <li>4. スポーツ選手と歯科との関わり合いについて説明できる。</li> </ol> <b>[E-2-4)-(2)-①、E-2-4)-(2)-②、E-2-4)-(2)-③]</b> アクティブラーニング：プレゼンテーション、ディスカッション ICT：クリッカー等 事前学修：スポーツ医学、スポーツ歯学とはどのような学問であるのか、またマウスガードの役割について、教科書（要説スポーツ歯科医学）等を用いて事前に調べ、500字程度にまとめ発表できるようにしておく。

講義	12/1 (金)	3 4	<p>田邊憲昌教授 (補綴・インプラント学)</p> <p>石山信男 非常勤講師</p> <p>片寄正樹 非常勤講師</p>	<p>スポーツ歯科 2 スポーツ医学</p> <p>スポーツドクターの役割</p> <p>トップアスリートに対する 医科学サポート</p> <p>国際大会における医科学 サポート</p>	<p>1. スポーツ医学・スポーツ歯学について説明できる。</p> <p>2. スポーツドクターの役割を説明できる。</p> <p>3. スポーツの現場における外傷について説明できる。</p> <p>[E-2-4)-(2)-①、E-2-4)-(2)-②、E-2-4)-(2)-③]</p> <p>アクティブラーニング：プレゼンテーション、ディスカッション</p> <p>ICT：オンライン講義システム</p> <p>事前学修：スポーツの現場での外傷（口腔外傷含む）について、教科書（要説スポーツ歯科医学）等を用いて等を用いて事前に調べ、500字程度にまとめ、発表できるようにしておく。</p>
実習	12/4 (月)	1	<p>今一裕准教授 福德暁宏助教 塚谷顕介助教 野尻俊樹助教 (補綴・インプラント学)</p>	<p>インプラント実習準備</p> <p>①器具の確認 ②個人トレー作製用模型準備</p>	<p>1. インプラント体の埋入器具の準備ができる。</p> <p>2. インプラント埋入手術の手順を説明できる。</p> <p>3. 個人トレーの製作法を理解する。</p> <p>[E-3-4)-(3)-⑤、E-3-4)-(3)-⑥]</p> <p>アクティブラーニング：実習、ディスカッション</p> <p>ICT:WebClass</p> <p>事前学修：FRで学んだインプラントの埋入手術に使用する器具について、教科書（よくわかる口腔インプラント学第3版P137-172）等を用いて事前に調べ、500字程度にまとめ、ディスカッションできるようにしておく。</p>
実習	12/4 (月)	2	<p>今一裕准教授 福德暁宏助教 塚谷顕介助教 野尻俊樹助教 (補綴・インプラント学)</p> <p>高橋敏幸 非常勤講師 山中拓人 非常勤講師</p>	<p>Digital Dentistry 6</p> <p>シミュレーション実習 PCを用いた埋入手術シミュレーション</p>	<p>1. PCを用いた埋入手術シミュレーションと診断ができる。</p> <p>2. 診断に基づき骨移植の必要性を判断できる。</p> <p>[E-3-4)-(3)-③、E-3-4)-(3)-④、E-3-4)-(3)-⑤]</p> <p>アクティブラーニング：実習、ディスカッション</p> <p>ICT:WebClass</p> <p>事前学修：FRで学んだ補綴主導型インプラント治療と前歯部の症例について、教科書（よくわかる口腔インプラント学第3版P81-97）等を用いて事前に調べ、500字程度にまとめ、ディスカッションできるようにしておく。</p>

実習	12/4 (月)	3 4	田邊憲昌特任教授 福德暁宏助教 小山田勇太郎助教 福德暁宏助教 塚谷顕介助教 野尻俊樹助教  佐藤武司 金村清孝 豊田康夫 高橋敏幸 (非常勤講師)	スポーツマウスガード製作実習  ①製作法講義 ②マウスガード製作	1. マウスガードの製作手順が説明できる。 2. マウスガードを製作できる。 [E-2-4)-(2)-①、E-2-4)-(2)-②、E-2-4)-(2)-③、F-1-2)-⑤] アクティブラーニング：実習、ディスカッション ICT:WebClass 事前学修：マウスガードの製作法について、教科書（要説スポーツ歯科医学）等を用いて等を用いて事前に調べ、500字程度にまとめ、実習が滞りなくできるようにしておく。
実習	12/5 (火)	1 2 3	今一裕准教授 福德暁宏助教 塚谷顕介助教 野尻俊樹助教 (補綴・インプラント学)  折祖研太 井上学 (非常勤講師)	インプラント埋入実習  ①インプラント器具確認 ②インプラント埋入	1. インプラント体の埋入器具の準備ができる。 2. インプラント埋入手術の手順を説明できる。 3. 手術器具を適切に扱うことができる。 4. インプラントの埋入手術に必要な手技を習得する。 [E-3-4)-(3)-⑤] アクティブラーニング：実習、ディスカッション ICT:WebClass 事前学修：FRで学んだインプラントの埋入について、使用する器具と術式について、教科書（よくわかる口腔インプラント学第3版P137-172）等を用いて事前に調べ、500字程度にまとめ、実習が滞りなくできるようにしておく。
実習	12/5 (火)	4	今一裕准教授 福德暁宏助教 塚谷顕介助教 野尻俊樹助教 (補綴・インプラント学)  折祖研太 井上学 (非常勤講師)	インプラント印象採得実習	1. インプラント印象採得に必要な器具の準備ができる。 2. 個人トレーの作製の手技を習得する。 3. インプラント印象採得の手順を説明できる。 4. インプラント印象採得必要な手技を習得する。 [E-3-4)-(3)-⑥] アクティブラーニング：実習、ディスカッション ICT:WebClass 事前学修：FRで学んだインプラントの印象採得について、使用する器具と術式について、教科書（よくわかる口腔インプラント学第3版P163-172）等を用いて事前に調べ、500字程度にまとめ、実習が滞りなくできるようにしておく。

講義	12/6 (水)	1	八重柏隆教授 (歯周療法学)  福德暁宏助教 (補綴・インプラント学)	<b>難易度の高い歯科治療2 (歯周病治療とインプラント治療)</b>  難症例に対する治療法を理解する。	1. 歯周病患者に対するインプラント治療の在り方を知る。 2. インプラント周囲炎について説明できる。 [E-3-4)-(3)-⑦] アクティブラーニング：プレゼンテーション、ディスカッション ICT：クリッカー等 事前学修：インプラント周囲炎について、教科書（よくわかる口腔インプラント学第3版P251-259, P276-282）等を用いて事前に調べ、500字程度にまとめ発表できるようにしておく。
講義	12/6 (水)	2	福德暁宏助教 (補綴・インプラント学)	<b>デンタルインプラント5</b>  インプラントのメンテナンス・インプラント周囲炎	1. インプラント周囲炎の原因について説明できる。 2. インプラント周囲炎の対処法について説明できる。 [E-3-4)-(3)-⑧] アクティブラーニング：プレゼンテーション、ディスカッション ICT：クリッカー等 事前学修：「インプラントのメンテナンス、インプラント周囲炎」について、教科書（よくわかる口腔インプラント学第3版P251-259, P276-282）等を用いて事前に調べ、500字程度にまとめ発表できるようにしておく。
講義	12/6 (水)	3	田邊憲昌教授 (補綴・インプラント学)	<b>難易度の高い歯科治療3 (咬合再構築症例)</b>  難症例に対する治療法を理解する。	1. クラウンブリッジ、床義歯による補綴の定義を説明できる。 2. 咬合の崩壊した難症例に対するクラウンブリッジと床義歯治療の手順を説明できる。 [E-3-4)-(1)-①、E-3-4)-(3)-⑦] アクティブラーニング：プレゼンテーション、ディスカッション ICT：クリッカー等 事前学修：「咬合再構成」について、教科書（クラウンブリッジ補綴学第6版P37-42）等を用いて事前に調べ、500字程度にまとめ発表できるようにしておく。

講義	12/6 (水)	4	武部純 非常勤講師	難易度の高い歯科治療4 (顎顔面補綴)	1. 顎顔面補綴の定義を説明できる。 2. 顎欠損症例に対する治療の手順を説明できる。 [E-3-4)-(1)-①、E-3-4)-(3)-⑦] アクティブラーニング：プレゼンテーション、ディスカッション ICT:オンライン講義、インターネットの活用 事前学修：「顎顔面補綴」について、インターネット等を活用して事前に調べ、500字程度にまとめ発表できるようにしておく。
講義	12/7 (木)	1	小林琢也教授 米澤紗織助教 (摂食嚥下・口腔リハビリテーション学)	高齢者歯科 1 訪問歯科 1  高齢者歯科診療	1. 訪問歯科診療を行う上での医療制度を説明できる。 2. 要介護高齢者の歯科治療時の注意点を説明できる。 3. 訪問診療に必要な機材を説明できる。 [C-4-3-2, 6, 7], [D-5-7-5, 6] 事前学修：老年歯科医学 p 1~47を読み、疑問点をまとめておくこと。
講義	12/7 (木)	2	鈴木哲也 非常勤講師	高齢者歯科 2  高齢社会に求められる義歯治療 難易度の高い歯科治療 (床義歯補綴)  欠損補綴における難症例に対する治療法を理解する。	1. 無歯顎補綴の定義を説明できる。 2. 難症例に対する床義歯補綴の治療手順を説明できる。 [D-5-3-2] 事前学修：全部床義歯の製作方法についてFRの講義・実習を復習し、500字程度にまとめ発表できるようにしておく。
講義	12/7 (木)	3	杉浦剛 (非常勤講師)  小林琢也教授 (摂食嚥下・口腔リハビリテーション学)	高齢者歯科 3 訪問歯科 2  訪問診療の実際を学ぶ。	1. 在宅医療を説明できる。 2. 在宅患者の全身評価ができる。 3. 医科担当医との情報交換ができる。 4. 介護職員との情報交換ができる。 [D-6-1. D-6-2] 事前学修：老年歯科医学 p 141~164、p 262~298、歯学生のための摂食嚥下リハビリテーション学 p 223~233を読み、疑問点をまとめておくこと。

講義	12/7 (木)	4	佐藤健一教授 (歯科麻酔学分野)	<b>高齢者歯科 4</b> <b>(IT教育)</b> <b>IT教育の目的</b> <b>オリエンテーション</b>  IT教育の目的、使用設備について理解する。	1. IT教育で学ぶ目標を説明する。 2. ITシステムに接続できる。 3. ITシステムを利用できる。 4. PCを用いて必要な情報を得る。 5. 電子ポートフォリオを作成する。 [A-5-1)、A-7-1)-③、E-5-1)-①、E-5-1)-②] アクティブラーニング：プレゼンテーション、ディスカッション ICT：Webclass 事前学修：一般的なPCの使用法を理解しておく。
講義	12/8 (金)	1	小林琢也教授 (摂食嚥下・口腔リハビリテーション学分野) 熊谷章子准教授 (法歯学・災害口腔医学部分野)	<b>高齢者歯科 5</b> <b>(IT教育)</b> <b>高齢者の口腔疾患</b>  口腔乾燥を訴える患者に対する医療面接を学ぶ。	1. 高齢者が罹患する口腔疾患を説明できる。 2. 口腔乾燥を訴える患者の医療面接の要点を説明できる。 3. 口腔乾燥を訴える患者の鑑別診断ができる。 4. 口腔乾燥症と基礎疾患との関連について説明できる。 5. 口腔乾燥症の診断基準を説明できる。 6. 口腔乾燥症の治療法を説明できる。 [D-3-1-11-5] アクティブラーニング：プレゼンテーション、ディスカッション ICT：Webclass 事前学修：「口腔乾燥症の特徴と治療方法」について、インターネット等を活用して調べて500字程度にまとめ、発表できるようにしておく。
講義	12/8 (金)	2	佐藤健一教授 (歯科麻酔学分野)	<b>高齢者歯科 6</b> <b>(IT教育)</b> <b>高齢社会と歯科医療①</b>  高齢者で多く見られる基礎的疾患を理解し、歯科治療時の注意点について学ぶ。	1. 高血圧症について説明する。 2. 高血圧症を合併する高齢者の歯科治療中の注意点を列挙する。不整脈について説明する。 3. 心房細動を合併する高齢者の歯科治療中の注意点を列挙する。 4. 抗凝固療法の適応について説明する。 5. 抗凝固療法中の高齢者の歯科治療中の注意点を列挙する。 [A-5-1)、A-7-1)-③、E-5-1)-①、E-5-1)-②] アクティブラーニング：プレゼンテーション、ディスカッション ICT：Webclass 事前学修：「高血圧と不整脈」について、インターネット等を活用して調べて500字程度にまとめ、発表できるようにしておく。

講義	12/8 (金)	3	佐藤健一教授 (歯科麻酔学分野)	<b>高齢者歯科 7 (IT教育) 高齢社会と歯科医療②</b>  高齢者で多く見られる基礎的疾患を理解し、歯科治療時の注意点について学ぶ。	1. 高齢者で多く見られる基礎疾患を列挙する。 2. 糖尿病について説明する。 3. 糖尿病を合併する高齢者の歯科治療中の注意点を列挙する。 <b>[A-5-1)、A-7-1)-③、E-5-1)-①、E-5-1)-②]</b> アクティブラーニング：プレゼンテーション、ディスカッション ICT：Webclass 事前学修：「糖尿病」について、インターネット等を活用して調べて500字程度にまとめ、発表できるようにしておく。
講義	12/8 (金)	4	佐藤健一教授 (歯科麻酔学分野) 小林琢也教授 (摂食嚥下・口腔リハビリテーション学分野)	<b>高齢者歯科 8 (IT教育) 高齢社会とチーム医療</b>  脳梗塞などの疾患で入院した高齢者に対するチーム医療での歯科の関わりについて学び、急性期の歯科医師の役割を理解する。	1. 脳卒中の急性期症状と全身および口腔の機能について説明する。 2. 急性期のチーム医療体制を説明する。 3. 病院における急性期の医療・歯科の連携医療を説明する。 4. 病院における急性期患者に対する口腔ケアの実施について説明する。 <b>[D-6-1, D-6-2]</b> アクティブラーニング：プレゼンテーション、ディスカッション ICT：Webclass 事前学修：「脳卒中」について、インターネット等を活用して調べて500字程度にまとめ、発表できるようにしておく。
講義	12/11 (月)	1	古屋純一 非常勤講師  小林琢也教授 (摂食嚥下・口腔リハビリテーション学分野)	<b>高齢者歯科 9 摂食嚥下リハビリテーション1</b>  摂食嚥下のメカニズムと摂食嚥下障害の病因と病態を理解する。	1. 摂食嚥下のメカニズムを説明できる。 2. 摂食嚥下の5期について説明できる。 3. 摂食嚥下障害について説明できる。 4. 摂食嚥下障害の病因について説明できる。 5. 摂食嚥下障害の病態について説明できる。 <b>[D-5-7-7]</b> 事前学修：老年歯科医学 p 299～309、歯学生のための摂食嚥下リハビリテーション学 p 2～18、20～49、58～67、70～110を読み、疑問点を500字程度にまとめ発表できるようにしておくこと。

講義	12/11 (月)	2	<p>古屋純一 非常勤講師</p> <p>小林琢也教授 (摂食嚥下・口腔リ ハビリテーション学 分野)</p>	<p>高齢者歯科 10 摂食嚥下リハビリテ ーション2</p> <p>摂食・嚥下障害の検査法 と診断を理解する。</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 摂食嚥下障害のスクリーニング テストについて説明できる。</li> <li>2. 摂食嚥下障害の精密検査につい て説明できる。</li> <li>3. 摂食嚥下障害の診断について説 明できる。</li> <li>4. 摂食・嚥下リハビリテーション の治療計画法について説明できる。 [D-5-7-7]</li> </ol> <p>事前学修：老年歯科医学 p 316～ 325、歯学生のための摂食嚥下リハ ビリテーション学 p 124～156、58～ 67を読み、疑問点を500字程度にま とめ発表できるようにしておくこ と。</p>
講義	12/11 (月)	3	<p>小林琢也教授 (摂食嚥下・口腔リ ハビリテーション学 分野)</p>	<p>高齢者歯科 11 摂食嚥下リハビリテ ーション3</p> <p>摂食嚥下障害患者に対す る治療法と治療計画立案 を理解する。</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 摂食嚥下障害患者に対する治療 計画立案ができる。</li> <li>2. 摂食嚥下障害患者に対するリハ ビリテーション治療について説明で きる。</li> <li>3. 直接的アプローチについて説明 できる。</li> <li>4. 代償的アプローチについて説明 できる。</li> <li>5. 環境的アプローチについて説明 できる。</li> <li>6. 社会的アプローチについて説明 できる [D-5-7-7]</li> </ol> <p>事前学修：老年歯科医学 p 326～ 352、歯学生のための摂食嚥下リハ ビリテーション学 p 157～165、167 ～181を読み、疑問点を500字程度に まとめ発表できるようにしておくこ と。</p>
講義	12/11 (月)	4	<p>小林琢也教授 (摂食嚥下・口腔リ ハビリテーション学 分野)</p>	<p>高齢者歯科 12 摂食嚥下リハビリテ ーション4</p> <p>摂食嚥下障害に対する口 腔衛生管理と経口摂取法 を理解する。</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 高齢者の口腔健康管理について 説明できる。</li> <li>2. 摂食嚥下障害患者に対する口腔 衛生管理を説明できる。</li> <li>3. 摂食嚥下障害患者に対する姿勢 調整を説明できる。</li> <li>4. 摂食嚥下障害患者に対する食事 介助を説明できる</li> <li>5. 摂食嚥下障害患者に対する食形 態の調整を説明できる。</li> <li>6. 摂食嚥下障害患者に対する栄養 管理法を説明できる。 [D-5-7-4, 5, 6, 7, 8]</li> </ol> <p>事前学修：老年歯科医学 p 212～ 357、歯学生のための摂食嚥下リハ ビリテーション学 p 182～195、 p 196～212を読み、疑問点を500字程 度にまとめ発表できるようにしておく こと。</p>

講義	12/12 (火)	1	熊谷章子准教授 小林琢也教授 田邊憲昌特任教授	専門英語	
講義	12/12 (火)	2	小林琢也教授 (摂食嚥下・口腔リ ハビリテーション 学)	高齢者歯科 13 摂食嚥下リハビリテ ーション5  摂食嚥下障害に対する歯 科的対応を理解する。	1. 口腔機能低下について説明できる。 2. 口腔機能低下症の検査について説明できる。 3. 摂食・嚥下リハビリテーションに用いる口腔内装置について説明できる。 4. 補綴的対応以外の歯科的対応について説明できる。 [D-5-7-3] 事前学修：老年歯科医学 p 212～357、 p 373～429、歯学生のための摂食嚥下リハビリテーション学、 p 196～212 p 214～233読み、疑問点を500字程度にまとめ発表できるようにしておくこと。
講義	12/12 (火)	3	小林琢也教授 (摂食嚥下・口腔リ ハビリテーション 学)	高齢者歯科 14 摂食嚥下リハビリテ ーション6 訪問歯科 3  高齢者に対する摂食・嚥 下リハビリテーションと 訪問診療を理解する。	1. 訪問診療と摂食・嚥下リハビリテーションについて説明できる。 2. 摂食嚥下障害に対する病院での対応について説明できる。 3. 摂食嚥下障害に対する在宅での対応について説明できる。 4. 多職種連携による様々な対応について説明できる。 [D-5-7-1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8] 事前学修：老年歯科医学 p 353～372、歯学生のための摂食嚥下リハビリテーション学 p 214～233老年歯科医学 p 262～298を読み、疑問点をまとめておくこと。
講義	12/12 (火)	4	遠藤龍人教授 (兼担講師)  小林琢也教授 (摂食嚥下・口腔リ ハビリテーション学 分野)	高齢者歯科 15 摂食嚥下リハビリテ ーション7  高齢者の栄養管理につ いて理解する。	1. 高齢者の栄養障害について説明できる。 2. 高齢者の栄養療法について説明できる。 3. 高齢者の栄養管理について説明できる。 [D-5-7-8] 事前学修：老年歯科医学 p 165～179、歯学生のための摂食嚥下リハビリテーション学 p 182～192を読み、疑問点を500字程度にまとめて発表できるようにしておくこと。

## 最終試験等日程表

区分	月日 (曜)	時 限	担当教員 (講座 分野)	ユニット名 内容	到達目標 [コア・カリキュラム] 事前事後学修
	12/13 (水)	1 2		AD最終筆記試験	講義内容に関する筆記試験
	12/13 (水)	3		コースアンケート実施	実習・演習内容に関するアンケート
	12/13 (水)	4		専門英語試験	講義内容に関する筆記試験

## 教科書・参考書・推薦図書

区分	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	法歯科医学 第2版	高橋雅典 監修、都築民幸、山田良広、櫻田宏一 編	永末書店	2022年
教	老年歯科医学 第2版	森戸光彦ほか編	医歯薬出版	2022年
教	歯学生のための摂食嚥下リハビリテーション学	向井美恵、山田好秋、井上誠、弘中祥司ほか編	医歯薬出版	2019年
教	よくわかる口腔インプラント学 第4版	赤川安正ほか著	医歯薬出版	2023年
教	クラウンブリッジ補綴学 第6版	矢谷博文ほか編	医歯薬出版	2021年
教	要説スポーツ歯科医学2版	安井利一ほか編	医学情報社	2020年
教	無歯顎補綴治療学 第4版	市川哲雄ほか編	医歯薬出版	2022年
参	パーシャルデンチャーアトラス：デザイン理論と臨床遊離端義歯を中心に	大山喬史 編著	医歯薬出版	2005年
参	コンプリートデンチャーテクニック 6版	細井紀雄ほか編	医歯薬出版	2011年
参	災害歯科医学	槻木恵一、中久木康一 編	医歯薬出版	2018年

## 成績評価方法・基準・配点割合等

<p>講義（65点以上で合格）：コース最終筆記試験の総合評価          実習（65点以上で合格）：実習（態度、知識、技能）評価、          コース最終筆記試験実習の総合評価          講義と実習が、それぞれ合格した場合に合格とする。</p> <p>備考          授業態度、実習に対する知識（実習内容を理解することができる）、技術（実習内容に則した手技ができる）、積極性（実習意欲があり積極的に行動することができる）、礼節（礼儀正しい話し方ができ責任ある行動ができる）を評価対象とする。          講義・実習ともに欠席・遅刻に応じて減点する。</p>
---

## 特記事項・その他（試験・レポート等へのフィードバック方法・アクティブラーニングの実施、ICTの活用等）

特記事項なし
--------

## 授業に使用する機械・器具と使用目的←

使用機器・器具等の名称・規格	台数	使用区分	使用目的
デジタル1眼レフカメラ 一式 EOS 7D	1	基礎実習用機器	学生配布資料記録用
レーザービームプリンタ Satera LBP9200C	1	基礎実習用機器	学生配布資料記録用
コーケン内視鏡洗浄容器 #1081	1	基礎実習用機器	学生配布資料記録用

ハロゲン光源装置	LH-150PC	1	基礎実習用機器	学生配布資料記録用
内視鏡用CCDカメラ	PSV-4000	1	視聴覚用機器 臨床実習用機器	嚥下に関わる機器、内視鏡検査の説明用
モデルキャプチャートライ		2	基礎実習用機器	実習 マウスガード作製のため
ノートパソコン	PT67VGPBJA	1	視聴覚用機器	4学年講義での使用
ノートパソコン LIFEBOOK一式	A576/PX	1	基礎実習・研究用機器	講義・実習資料作成
ノートパソコン LIFEBOOK一式	A576/PX	1	基礎実習・研究用機器	生前・死後記録照合用
DEXISプラチナセンサー		1	基礎実習・研究用機器	CCDセンサーを使用した ポータブルエックス線写真撮影練習用
ノートパソコン VersaProタイプVC	PC- VK25LCLCZKTMHBZ ZY	1	基礎実習・研究用機器	CCDセンサーを使用したポータブルエックス線写真撮影練習用
放射線防護用エプロン	100010-2	1	基礎実習・研究用機器	ポータブルエックス線写真撮影練習用に着用
デスクトップパソコン ProDesk400一式	G4 SF/CT	1	基礎実習・研究用機器	講義・実習配布資料作成

## 「先進歯科医学」4週

Advanced Dentistry (R5年11/21(火)～12/13(水))

コース責任者：入江太朗、佐藤健一、熊谷章子、小林琢也、田邊憲昌、今 一裕

Week		講義 実習(コマ数)	
1	法歯学	8	4
2	口腔病理, 審美歯科, 難易度の高い歯科治療, Digital Dentistry, デンタルインプラント	17	3
3	難易度の高い歯科治療, デンタルインプラント, スポーツ歯学, 高齢者歯科, 摂食嚥下リハ, 大学間連携IT教育	12	8
4	摂食嚥下リハ, 最終試験(筆記) *	7	

\*: コースアンケート実施

合計 44 15(コマ)

(内規: 講義・実習 2/3以上出席)コース最終試験の受験資格有り 30 10(コマ)

## Advanced Dentistry Week 1 法歯学

	11/20 月	11/21 火	11/22 水	11/23 木	11/24 金
1		法歯学概論 熊谷(章)	歯科的個人識別 歯科的年齢推定 熊谷(章)	休日	歯科的個人識別 実習 熊谷(章)
2		法医学・法医人類学 熊谷(章)	歯科的年齢推定 実習 熊谷(章)	休日	大規模災害対応 実習 熊谷(章)
3		災害医学概論 眞瀬	災害時歯科保健 医療活動 中久木(非常勤)	休日	虐待 熊谷(章)
4		災害口腔医学概論 熊谷(章)	警察協力歯科医に よる検死活動 菊月	休日	咬傷鑑定 実習 熊谷(章)

## Advanced Dentistry Week 2

口腔病理, 審美歯科, 難易度の高い歯科治療, Digital Dentistry, デンタルインプラント

	11/27 月	11/28 火	11/29 水	11/30 木	12/1 金
1	口腔病理学1 (病理診断を正しく用いるための注意点) 入江	Digital Dentistry 1 デジタル技術の歯科治療への応用 大平(非常勤)	Digital Dentistry 3 ITを応用した診断と治療計画 梅原(非常勤)	デンタルインプラント3 インプラント治療の予後と偶発症 春日井(非常勤)	Digital Dentistry 5 デジタル技術のインプラント治療への応用 深澤
2	口腔病理学2 (歯科治療に伴う治療の病理変化) 佐藤	Digital Dentistry 2 CAD/CAM・口腔内スキャナーを応用した補綴処置 大平(非常勤)	Digital Dentistry 4 口腔内スキャナーによる光学印象採得実習 深澤・塚谷・福徳・野尻	デンタルインプラント4 高度なインプラント外科手術 堀内(非常勤)	スポーツ歯科1 スポーツ歯学 田邊・福徳
3	審美歯科治療1 梶村(非常勤)	審美歯科治療2 クラウン・ブリッジによる審美修復 千葉(非常勤)	デンタルインプラント1 シミュレーション診断 今	インプラント手術室・CAD/CAMセンター 見学1, 2 深澤・齋藤・塚谷・佐藤	スポーツ歯科2 スポーツ医学 田邊・石山(非常勤)
4	難易度の高い歯科治療1 レーザー治療 マイクロスコープ 野田・志賀(非常勤)	審美歯科治療3 インプラントによる審美修復・即時修復 千葉(非常勤)	デンタルインプラント2 補綴主導型インプラント治療・骨増生法 今		スポーツ歯科3 医科学サポート 田邊・片寄(非常勤)

## Advanced Dentistry Week 3

難易度の高い歯科治療, デンタルインプラント, スポーツ歯学, 高齢者歯科, 摂食嚥下リハ

	12/4 月	12/5 火	12/6 水	12/7 木	12/8 金
1	インプラント実習準備 今・福徳・塚谷・野尻 ①器具の確認 ②個人トレー作製用模型準備	インプラント埋入実習 今・福徳・塚谷・野尻 折祖・井上(非常勤) ①インプラント器具確認 ②インプラント埋入	難易度の高い歯科治療2 歯周病とインプラント 福徳・八重柏	高齢者歯科1 訪問歯科1 高齢者社会における歯科医療 小林・米澤	高齢者歯科5 (IT教育) 高齢者の口腔疾患 小林・熊谷
2	Digital Dentistry 6 シミュレーション実習 PCを用いた埋入手術シミュレーション 今・福徳・塚谷・野尻 高橋・山中(非常勤)		デンタルインプラント5 メンテナンス・インプラント周囲炎 福徳	高齢者歯科2 高齢社会に求められる歯科治療 鈴木哲也(非常勤)	高齢者歯科6 (IT教育) 高齢社会と歯科医療 ① 佐藤健一
3	スポーツマウスガード 製作実習 田邊・福徳・小山田・福徳・塚谷・野尻 佐藤(武)・金村・豊田・高橋(非常勤)		難易度の高い歯科治療3 咬合再構築症例 田邊	高齢者歯科3 訪問歯科2 訪問歯科の実践 杉浦(非常勤)・小林	高齢者歯科7 (IT教育) 高齢社会と歯科医療 ② 佐藤健一
4	①製法講義 ②マウスガード製作		インプラント印象採得実習 今・福徳・塚谷・野尻 折祖・井上(非常勤)	難易度の高い歯科治療4 顎顔面補綴 武部(非常勤)	高齢者歯科4 (IT教育) オリエンテーション 佐藤健一

## Advanced Dentistry Week 4

### 摂食嚥下リハ, 試験

	12/11 月	12/12 火	12/13 水	12/14 木	
1	高齢者歯科 9 摂食・嚥下リハビリテーション1 摂食嚥下のメカニズムと病態 古屋(非常勤)・小林	専門英語	最終筆記試験	※	※
2	高齢者歯科 10 摂食・嚥下リハビリテーション2 検査法と診断 古屋(非常勤)・小林	高齢者歯科 13 摂食・嚥下リハビリテーション5 歯科的対応 小林		※	※
3	高齢者歯科 11 摂食・嚥下リハビリテーション3 治療計画と訓練法 小林	高齢者歯科 14 摂食・嚥下リハビリテーション6 訪問歯科3 多職種連携の実際 小林	※ コースアンケート実施	※	※
4	高齢者歯科 12 摂食・嚥下リハビリテーション4 口腔管理と姿勢調整 小林	高齢者歯科 15 摂食・嚥下リハビリテーション7 高齢者の栄養管理 遠藤(兼任講師)・小林	専門英語試験	※	※